

抗体. 日本生物物理学会第24回大会, 1986, 10, 筑波.

9) 酒井秀紀, 山口真人, 早川淑佳, 竹口紀見: ウサギ胃腺とカエル胃粘膜による酸分泌とグルタチオン. 日本生物物理学会第24回大会, 1986, 10, 筑波.

10) 柏倉正, 竹口紀見: 肝細胞のホルモン応答とリン酸化ポテンシャルおよび細胞内酸化還元変動. 第9回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 1986, 11, 東京.

11) 森井孫俊, 高田秀之, 竹口紀見: 蛍光エナジートランスファー法による H^+ , K^+ -ATPase のコンフォメーション解析. 生体エネルギー研究会第12回討論会, 1986, 12, 東京.

12) 浅野真司, 田淵圭章, 竹口紀見: H^+ , K^+ -ATPase のSH 基修飾とモノクローナル抗体. 生体エネルギー研究会第12回討論会, 1986, 12, 東京.

13) Morii, M. and Ikemoto, N.: Rapid kinetic studies of Ca^{2+} -induced conformational changes of the sarcoplasmic reticulum. Annual meeting of Biophysical Society (U. S. A.) 1986, 2, San Francisco.

助 教 授 北 川 泰 司
助 手 森 佳 洋
助 手 篠 田 裕 之

◆ 原 著

1) Mori Y. and Kitagawa T.: Mass spectrometric studies on hydrogen-bonded clusters produced via supersonic expansions. II. characteristic ions for detection of $(H_2O)_n$, $(CH_3OH)_n$ and $(C_2H_5OH)_n$ ($n \leq 4$). Chem. Phys. Letters. 128: 383—388, 1986.

2) Mori Y. and Kitagawa T.: III. fragmentations to the monomer fragment ions and estimate of cluster size distribution of $(CH_3OH)_n$ ($n \leq 4$). Chem. Phys. Letters. 128: 389—394, 1986.

3) Yamaguchi S., Shinoda H., Inoue M. and Enomoto S.: Mechanistic studies on the oxidation of naphthalenes and methylbenzenes to quinones with H_2O_2 in the presence of Pd(II) Catalysts. Chem. Pharm. Bull. 34: 4467—4473, 1986.

◆ 学会報告

1) 森 佳洋, 国安美和, 北川泰司: ベンゼンお

よびピリジンの紫外レーザー光 (193, 248nm) による多光子イオン化過程. 日本化学会第52春季年会, 1986, 4, 京都.

2) 篠田裕之, 北島直美: 尿素加水分解反応の分子軌道法計算(4). 塩基性水溶液中での二段階反応. 日本薬学会第106年会, 1986, 4, 千葉.

3) 森 正明, 佐山三千雄, 宮原龍郎, 篠田裕之, 狐塚 寛: MINDO 法によるジニトロベンズアルデヒドの変異原性の解析. 日本薬学会第106年会, 1986, 4, 千葉.

4) 篠田裕之: 局在化分子軌道の摂動展開. 日本化学会第52春季年会, 1986, 4, 京都.

5) 森 佳洋, 北川泰司: ベンゼン- h_6 およびベンゼン- d_6 の多光子イオン化質量スペクトル. 分子構造総合討論会, 1986, 11, 大阪.

◆ そ の 他

1) 篠田裕之, 小川 豊, 久島史治: Clinical Pharmacokinetics とコンピューターの利用(6). TDM 5: 23—26, 1986.

薬学部附属薬用植物園

助 教 授 吉 崎 正 雄
助 手 鈴 木 正 一
文部技官 藤 野 廣 春

◆ 原 著

1) Hatano T., Kira R., Yoshizaki M. and Okuda T.: Seasonal changes in the tannins of Liquidambar formosana reflect their biogenesis. Phytochemistry. 25: 2787—2789, 1986.

◆ 学会報告

1) 吉崎正雄, 鈴木正一, 滝野吉雄, 宮原武恒, 有地 滋, 林 輝明: 黄芩(Scutellaria baicalensis Georgi) の生育過程におけるフラボノイド含有量の変化. 日本薬学会第106年会, 1986, 4, 千葉.

2) 清水岑夫, 堀江俊治, 有澤宗久, 林 利光, 鈴木正一, 吉崎正雄, 川崎 勝, 寺島 恵, 辻 秀樹, 和田修治, 植野 一, 森田直賢, Berganza L. H., Ferro E., Basuald I.: パラグアイ薬草の化学薬学的研究 第1報 Tape cue (Acanthospermum australe) の Aldose Reductase 阻害活性成分. 日本薬学会第106年会, 1986, 4, 千葉.

3) 林 利光, 有澤宗久, 番留忠司, 南百瀬佳也, 清水岑夫, 鈴木正一, 吉崎正雄, 川崎 勝, 植野 一, 堀江俊治, 和田修治, 正川 仁, 藤田章夫, 寺島 恵, 森田直賢, Berganza L. H., Ferro E.,

Basualdo I.: パラグアイ薬草の化学薬学的研究 第2報 Romero のウレアーゼ阻害および KB 細胞増殖抑制について. 日本生薬学会第33回年会, 1986, 10, 埼玉.

4) 吉崎正雄, 鈴木正一, 清水岑夫, 有澤宗久, 林 利光, 森田直賢, Berganza L. H., Ferro E., Basualdo I.: パラグアイ薬草の化学薬学的研究 第3報 パラグアイ薬草の現況. その1 アスンシオン市場の薬草. 日本生薬学会第33回年会, 1986, 10, 埼玉.

5) 波多野 力, 金田珠美, 森本智子, 奥田拓男, 吉崎正雄: フウのタンニン研究(第4報). 日本生薬学会第33回年会, 1986, 10, 埼玉.

6) 鈴木正一, 藤野廣春, 吉崎正雄: トチパニンジン (*Panax japonicus*) の栽培研究(1). 日本生薬学会第33回年会, 1986, 10, 埼玉.

◆ その他

1) 吉崎正雄編: 富山医科薬科大学薬学部附属薬用植物園植物目録追録, 薬用植物園, 1986.